鳥栖公民

才49号　昭和３４年５月１４日発行　毎月１回発行
発行所　鳥栖市教育委員会
佐賀県鳥栖局区内　電話２５０４番
発行人　権藤　哲造
編集人　篠原　真
印刷人　松隈伊和見

行事

15・16日▽鳥栖高校文化祭
17日▽国民体育デー▽鳥栖高校体育大会▽鳥栖工高体育祭
22日▽鳥栖地区乳児検診（保健所、午前九時半～十一時）
25日▽基里地区乳児検診（支所、午後一時半～三時）▽料理講習会（荻野）
26日▽田代地区乳児検診（支所、午後一時半～三時）
27日▽料理講習会（田代本町）
30日▽三十四年度保険税第一期分納期限

地区公民館長決る

鳥栖市教育委員会では四月一日付で次の四氏を地区公民館長に任命した。任期は三年、鳥栖地区は未定。

▽田代公民館長　古賀靖彦　再
▽基里公民館長　堀田　元　再
▽麓　公民館長　原　正人　再
▽旭　公民館長　立石虎雄　新

市民の動き

昭和34年３月末

人口	41.635人
世帯	7.811
転入	323人
転出	222人
出生	84人
死亡	25人
結婚	67件
離婚	2件

5月17日 国民体育デー

市民ハイクや縦走競技　みんな気軽にご参加を

来る五月十七日、日曜日は国民体育デー、全国民こぞっていろいろの体育リクリェーションに参加する日です。この日、鳥栖市教育委員会では、雨のため延期となっている各町対抗の軟式野球大会の準優勝戦、優勝戦をはじめ、朝日山クロスカンツリー、青年団ソフトボール大会、市民ハイキングなどを計画、気軽な皆さんのご参加を望んでいます

各町対抗親善軟式野球大会準優勝及び優勝戦

鳥栖小学校校庭

10時	本町 — 飯田町
11時半	東町 — 藤木町
13時半	？ — ？

職域対抗朝日山クロスカンツリー（郊外縦走競技）

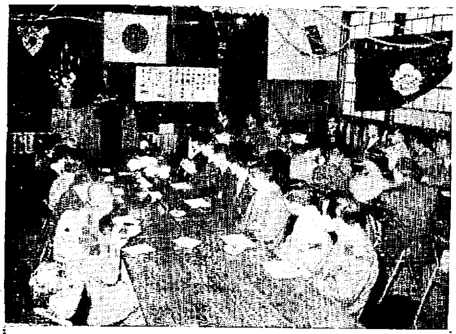
▽チーム　五名（一職域より何チームでもよい）
▽コース　午前十時市役所前出発、朝日山頂上でタスキを受取り折返し市役所前にゴール。途中のコースは別に定めず正規の道路以外を縦走してもよい
▽表　彰　団体賞として六位まで、参加者全員に参加賞を贈る
▽参加資格　九州一周駅伝出場選手を除く市内職域
▽申　込　五月十六日午前中までにメンバーを市教委事務局へ

青年団地区対抗ソフトボール大会

午前九時から鳥小、中学校校庭で各地区青年団対抗、参加チームは各地区団一チーム（編成は男七名、女二名）

市民ハイキング

▽目的地　家族コース　杓子ケ峯
　一般コース　城山
▽集合場所　いづれも午前九時半、古野町の八坂神社境内　十時出発
▽参加者には粗品進呈



会田地区　5月から鳥栖市へ

永年問題となっていた会田（かいだ）地区７世帯44人は、５月１日から正式に鳥栖市田代今町に編入することになり、５月８日午前11時から市議事堂で会田地区住民をはじめ知事代理馬場総務部次長や調整委員、天本基山町長、県議、市議ら関係者多数が集り祝賀会を行った。バラで飾られた式場では鳥栖中生徒のブラスバンドの演奏などもありなごやかなうちに意義深い式典を終った。（写真は祝賀会）

国民健康保険　納税組合設立のおすすめ

国民健康保険は本年四月より全市に実施せられましたが特に、国保運営の成否は保険税の納入いかんによることは皆様ご承知の通りでございます。保険課におきましては、昭和三十四年度中に全地区にして頂くようお願いいたします。保険税納税組合設立を目標として努力をいたしております。で、まだ納税組合の結成をみていない隣保班や、今度新たに実施をみた旧鳥栖町地区の皆様にぜひ納税組合を結成して頂くようお願いいたします。

組合結成に当りご説明を要する向きは市役所保険課にご連絡くだされば係がお伺いして説明申上げます。結成の届出用紙は各区長さんのところに届けてあります。

なお、国民健康保険納税組合の報奨規程が次のように設けられています。

国民健康保険税納税組合報奨規程（抜すい）

（奨励金の交付率）

第四条　奨励金は組合の納税成績を各納期毎に区分して左の率によって交付する。

一、組合が各納期限までに完納した場合は納税額の百分の七
二、組合が各納期限までに税額の百分の九十以上を納付した場合は納税額の百分の六
三、組合が各納期限までに税額の百分の八十以上を納付した場合は納税額の百分の四
四、組合が各納期限までに税額の百分の七十以上を納付した場合は納税額の百分の二

（奨励金の交付時期）

第五条　奨励金は毎年四月一日から翌年三月三十一日までの各納期ごとの成績を計算して五月中に交付する。

宮入貝に新薬

五月六日から十三日まで日住虫の中間宿主、宮入貝を殺す薬まきが関係部落ごとに行われたが、特に今回は久留米大岡部浩洋博士の指導により新薬ニホナートを安良川、宝満川下流と柳原の一部にまいた。これはＰＣＰのように魚類を殺すことがなく価格も安いので試験の結果をみて将来は大々的に使用されるもよう。（写真上は宮入貝の薬まき）

バラ展開く

鳥栖バラ会こう例の第五回春のバラ展は五月九・十の二日間、市議事堂でひらき三百点余の丹精のバラが観覧者をうっとりとさせた。花盛りをやや過ぎたため今回は審査をやらず、希望者にはバラ苗が分譲された。（写真左は会場）

農地売渡代金など未納の方は二十日までに

昭和三十三年度分の農地売渡代金年賦払、融資年賦払、国有農地貸付料の未納の方は、五月二十日までにぜひお納めくださるようお願いします。（鳥栖市農業委員会）

火の用心

火事はすぐ　119番へ

市連合青年団　年間行事決る

鳥栖市連合青年団（団長＝沼田幸彦氏）では五月二日の定期総会で次のような年間行事計画を決めた。

部	行事	期日
総務	団員育成運動	年間
〃	現地研究会	〃
〃	第四回文化祭	三十五年二月一日
〃	第八回県青年祭	十月三、四日
文化	新聞発行	毎月一回
〃	文化展	九月中旬
社会	世論調査	五月、十二月
〃	新生活運動推進	年間
〃	社会奉仕	〃
〃	公明選挙運動	
指導	青年指導者講習会	五月十六、十七日
〃	地区団の養成	年間
〃	サークル活動の育成	〃
体育	体育リクレーション	九月七日
〃	駅伝大会	一月十七日
〃	郡市対抗駅伝	二月七日
産業	改作盤地鏡技会（麓）	十一月下旬
〃	施肥設計の立て方研修会	十月下旬
〃	農業技術交換県内交流	年間
婦人	婦人部研究会	九月中旬
〃	食生活研究活動	十一月上旬
全般	県主体性確立二カ年計画	年間
〃	養老院慰問（全地区団）	九月十五日

青年指導者講習会

市連合青年団では五月十六・十七日の一泊二日間、実験農場内の農村青年研修所で青年団指導者講習会をひらく。参加予定は市内各部落幹部約六十名のほか伊万里市の吉原団長ら三名も出席する。講師は海口市長、権藤教育長ほか数名

寄付芳名

一金　五千円
亡母ミナ殿の香典返しとして市育英資金へ
宿町　平塚繁太郎殿

一金　五千円
金婚記念として市育英資金へ
田代昌町　前間清五郎殿
キクノ殿

結婚

▼牛原町＝立石利幸、トクエ（四月二十一日）▼立石町＝井上武敏、イソエ（四月二十二日）▼安楽寺町＝古川広次、文子・（四月二十二日）▲牛原町＝松隈正明、勝子（四月二十二日）▼宿町＝平塚禎、マチ子（四月二十二日）▼立石町＝原野良敏、則子（四月二十八日）▼宿町＝井辺正義、ヤスヨ（四月二十八日）▼德町＝松尾義昭、恵美子（四月二十八日）▼本鳥栖町＝権藤勝、清子（五月四日）▼田代昌町＝田中久賀、澄子（五月四日）▼永吉町＝毛利慶喜、粋子（五月四日）▼宿町＝村山伊三十、キミ江（五月四日）▼平田町＝高田誠彦、菊江（五月九日）▼鍋田町＝小出勲、すま子（五月九日）▼蔵上町＝三原十一、佳江（五月九日）▼田代昌町＝有家正刀、美智子（五月五日）▼田代外町＝原甚四郎、八千代（五月十日）以上五月十日現在

腸パラチフス予防接種日割

昭和三十四年度定期の腸パラチフスの予防接種が次の日割で行われます。該当者は、別途に実施される小、中、高校生徒、職場、国鉄関係を除く者で▽初回免疫＝昭和三十年四月一日から昭和三十一年三月三十一日までに生れた者▽追加免疫＝明治三十一年四月一日から昭和三十年三月三十一日までに生れた者

時間はいづれも午後一時～四時

期日	場所	実施町名
十六日	河内小学校	河内町
十八日	儀徳公民館	儀徳町　幸津町　三島町　下野町
十九日	村田公民館	村田町　江島町　村田町開拓
二十日	麓　支所	立石町　平田町　原古賀町　山浦町　山都町
二十一日	宿公民館	牛原町　宿町　蔵上町　養父町
二十二日	田代支所	田代本町　田代外町　柚比町　田代大官町　田代新町
二十三日	田代支所	今町　永吉町　田代昌町　田代上町
二十五日	神辺公民館	神辺町　曽方町　古賀町
二十六日	基里支所	飯田町　曽根崎町　原町　松原町　姫方町
二十七日	基里支所	桜町　幡崎町　酒井西町　酒井東町
二十八日	高田公民館	水屋町　高田町　安楽寺町
二十九日	東町保育園	秋葉町　藤木町　東町　京町
三十日	鳥栖小学校	轟木町　元町　今泉町　真木町
三十一日	議会議事堂	本町　本鳥栖町　中央区　本通町　鉄道官舎　専売公社

◎割当日に接種を受けられない方はほかの町の割当日にでも必ず受けましょう

料理講習年間計画決る

市教委では次のような年間料理講習計画を考えています。時間は一月一回三時間（講義一時間、実習二時間程度）で実習科目は受講者側の希望を加味して適宜決めます。受講希望の向きは、なるべく婦人会や部落、青年団などグループ単位で係まで早目にお申込みください。

五月　栄養学概論①栄養とは何か②栄養素③栄養欠乏による障害
六月　食品の組合せ①六つの基礎食品②献立のたて方③食品構成について
七月　消化、吸収、代謝について
八月　食品衛生①食中毒②食品の見分け方
九月　栄養価の算定について①日本人栄養基準量
十月　栄養価の減少、調理による損失とその注意、農繁期の食事について
十二月　正月料理と栄養
一月　冬の栄養
二月　栄養的な餅の食べ方①炭水化物偏重②取合せの注意
三月　一カ年を通しての反省会

巡回映画日割

市教委の巡回映画は次の日割で行う。上映フィルムは①マンガ、サル君カニ君②チビデカ物語③お母さんの幸福

▽21日、曽方町▽22日、村田町松原（開拓地）▽23日、曽根崎町▽25日、高田町▽26日村田町▽27日、真木町▽28日飯田町▽29日、田代上町、田代昌町、田代新町▽30日、今町（梅坂開拓地）

原稿募集

市政全般に関する建設的なご意見、営農体験、生活記録、部落やグループなどの動きその他文芸など、みなさんの気軽な投稿をお待ちしております。

昭和二十八年から農林省が力こぶを入れている水稲の早期栽培は、五年続きの豊作の重要な原因となっていますが、この栽培法は育苗その他従来のやり方とは全く異なったものですからそのつもりでやらなければいけません。一番望ましいことはその土地、土地でグループを作って適している品種はどれがよいか試験してみて、共同で少くなくとも五町歩以上やることです。水稲の早期栽培を集団的にやる必要がある理由は、

一、一部の田だけが早く成長して穂が出るので、すずめや害虫の集中的な攻撃を受ける。

二、田植その他水利の面に色々困難なことが起る。

三、病虫害の防除には正確な知識や共同の対策が必要だから共同で研究する必要があること。

たとえばツマグロヨコバイが媒介する萎縮病を防除するには、虫が周囲の畑や雑草で冬を越すのでその田だけでなく広範囲な野焼きなどをする必要がある。

水稲の早期栽培

要するに水稲の早期栽培は土地土地で集団的にやってこそ始めて成果をあげることができます。そのよい例は北九州の肥沃地帯、ここではグループで色々研究して集団的にやっているため二期作で一期それぞれ反当三石（十アールにつき、四百五十キログラム）位の収穫をあげています。

また千葉県の九十九里浜付近は従来有機質が多いため収量の低い所でしたが、今では水田二万ヘクタールの六～七十パーセントが早期栽培を実施して立派なできばえを見せ、収量も十アールにつき三百キログラムが三百八十キログラムにあがりほくほくだということです。

なお、水稲の早期栽培のあと作は秋ジャガや野菜が一般によいとされていますが、飼料を作って家畜を飼うのが本筋です。

（農林経営技術講座より）

各地にひろまった「農村サラリーマン」

農家の収入が秋にかたよるため「出来秋長者であとはピイピイ」という無計画アンバランスな生活になりがちなのを是正するため、新潟県中之島農協が始めた農家の月給制は、各地に大きな反響をまきおこし、北海道、山形県の各地に広がりつつある。山形県の場合はどのようにして実現したか、さらに大分県での卵貯金による簡易水道の実現とともに、農家の生活改善として貯蓄増強中央委員会では次のように説明している。

山形県の農村サラリーマン—米どころ庄内平野にある余目町の大和、栄、余目、十六合の四つの農協では四年つづきの豊作にも農家経済はかえって苦しく、たとえば大和農協では預金が年々一千万円ずつ減る始末、そこでいろいろと原因を調べ、対策を協議した結果、昨年の十月に月給制を実施、初めのサラリーが各農家にくばられた。

この月給制は計画貯金をもとにしており、でき秋の米代金とその他の副収入を生産準備貯金、納税準備貯金、月払貯金、特別準備貯金の四つの通帳でそっくり農協に預けいれてから、払出しは生産、納税準備金は振替送金で、月払貯金は毎月農協職員が各農家にとどける。また、特別準備貯金は必要に応じて支払われる仕組みになっている。赤字農家には営農規模に応じた貸付金も認め、資金計画に基いて順次返していくようにしている。

こうして月給制の計画貯蓄を始めた農家では家族の経済観念が高まり、養豚、養鶏など副業収入のみちを競って工夫するようになってきわめて好評、ことしになってから加入の申込みが殺到している。

成功の鍵としては、まず主人だけを集めての説明、それから主婦たちの会合、あるいは青年たちばかりの相談と、グループ別に話しあいが進められ、最後には家族全員の賛成した家の申込みだけを受付けるという方法にある。さらに職員が戸別訪問し、家計を絶対他言しない約束でいっしょに資金計画を相談しているということである。

農産物のお化け大会

●大いも

中国の雲南省徳宏州隴川県で、長さ五尺余、重さ十八キロというばけ物が今度とれた

●薬草人参

吉林省撫松県で、長さ一メートル、重さ一キロという非常に珍らしい薬草人参が発見されたが、この人参は大体三十七年経っているということである。

●菜種の王様

この菜種の王様は、四川省忠県でとれたもので、高さは一メートル七十五センチ、茎はなんと三万数千、第一回目にとれた種子は三キロ半もあったそうである。

●かぼちゃ

甘粛省永登県で今度重さ六十キロ、ふたかかえもある、かぼちゃがとれて話題となっている。

× × ×

大火のシーズン

春は大火の起りやすい季節である。戦後の昭和二十一年—三十二年の大火二八件中一七件まではこの三四、五月の三カ月間に起っている。また、山火事もこれから五月にかけてが最も多く、しかも年々増えて昭和二十九年一、五七九件だったのが、三十二年には二、八四〇件と八割方の増加、更にその損害では二十九年が三億八、五三七万円だったのが三十二年には一六億九、三三二万円と五倍にも達したのである。

寒さから解放され、火気の使用がぐっと少くなるので火災件数も少しは減るのが普通であるが、昭和三十二年四月中の火事は三、九五四件で年間の最高件数になっている。その上春特有の強い風が吹きまくり湿度の低い日など、出火すれば必ず損害が大きくなる。殊に火災警報の出ている時は火の元、水の用意等に一段と気をつけること。

× ×

山火事も入山者の不注意による人為的なものが大部分で、直接にはたばこ、マッチ、焚火等から起っている。

・炭焼き、伐採、登山、ピクニック等に当っては火の後始末を完全にすること。

統計にみる食生活の変化

最近の食生活の変化は食品の生産にどのようにあらわれているか、一寸調べてみましょう。まずバターの生産は、戦前の昭和九—十一年平均五、〇一六、〇〇〇ポンドそれが最近では次のように飛躍的にふえています。

昭和三十年 一六、〇八五、〇〇〇ポンド

〃三十一年 一七、一三八、〇〇〇ポンド

〃三十二年 二一、二九九、〇〇〇ポンド

同じようにハム類の生産高もふえ

昭和九—十一年平均 一、七〇二トン

〃三十年 一八、七九五トン

〃三十一年 二三、二一四トン

〃三十二年 二七、三〇六トン

戦前の約二十倍。我々の食生活がパン中心の洋風のものに変りつつあることが如実にわかります。これに反して最も日本風な食品の味噌と醤油はどうかとみると、味噌は戦前の最高を示した昭和十四年に五九七、〇〇〇トンであったものが、昭和三十二年は五三〇、〇〇〇トンと減っています。

（全国味噌工業協会調べ）

ところが醤油の方はそれほど減っておらず多少の増加をみせています。戦前の最高が昭和七年の七一万キロリットルに対し、戦後は

昭和三十年 九七万キロリットル

〃三十一年 一〇〇万キロリットル

〃三十二年 一〇四万キロリットル

とふえていますが、そのふえ方は緩慢で、人口の増加などを勘定に入れると人口一人当りの消費高はむしろ減っているようです。

（以上日本醤油協会調べ）

郷土の史話

太田観世音の開祖？ 八波（並）長者伝説

小林 肇

郷土には多くの伝説がありますが、八波長者については史的な面からも考察されています。それは、基山町長野付近に古代の駅長の存在が考えられています。その駅長がこの八波長者ではないだろうかということです。

今日では基山町金丸の丘に碑が建てられていますが、話によるとこの金丸の丘陵地を八波（並）の丘と申しています。なおこの長者の御子孫が今日では佐賀郡の金立付近にいられるとか聞きました。確かにこの丘付近が長者がいられた所と思われます。この丘続きの南の柚比町に八ッ並と地名がありますので、この辺に長者がいられたと思い伝説を考えたいのです。

この長者は木の尊様を大変崇められました。そこで毎年の祭りには風流（ふうりゅう＝浮立）を奉納されることになりました。そこで、今日でも八波の丘の南にあたる部落の久保田、山下、高嶋の人達が荒穂神社の祭りに浮立奉納しています。また鳥栖地方には天満宮が今日多いのですがこれは以前、太宰府の領地に属していたからではないかと言われています。そうした関係から学問の神を祭りました。この八波長者も学問を好まれ、御屋敷に土地の人が天満宮を建て、高木天満宮と申しました。その宮は今基山町の秋光にあります。

長者は沢山の兵隊、沢山のお金、又広い領地を持っていられました。その権勢のすばらしいことは旭日の昇る勢でありましたが、大事なお世嗣の子供がいられませんでした。ところがこの八波長者の広い領地の中に挟まれた小さな立花というお屋敷の中に長者の叔母さまがいらっしゃいました。

ある日立花の叔母さまから八波長者に「秋祭に詣って下さい」とお使いが参りました。八波長者は自分のお屋敷から七町余もある立花のお屋敷まで千両箱を並べさせ立派な身なりをした家来共をつれてその上を歩いて来られました。立花の玄関には立花の叔母さんの子供達がならんで迎えました。息子が十二人と娘が十二人合せて二十四人、心から長者をもてなしました。

お帰りの時に長者は叔母さんに向って「立派なお子さんが沢山で誠にうらやましい、千の倉より子が宝」と申されますと、叔母さんが「お子供がほしければ百姓をいつくしみ木の尊さまを崇めなさい」と申されました。

それから八波長者は農業を奨励され百姓を慈しみ、殊に荒穂宮を非常に崇められるようになりました。間もなく長男が生れ、その翌年には又長女が誕生になりました。

八波長者は喜びの余り、荒穂宮に浮立を奉納され、又一層百姓どもをお慈しみになりました。御長女の方は大変奇麗な方で下々をお慈み下さいましたから、荒穂様の御配偶の木花咲耶姫のお生れ代りの姫様であろうと皆の人々がお噂申していましたが、やがて筑後の柳河長者に縁づかれました。ところが二年もたたぬうちに、八並長者と柳河長者との間に戦争が始まりました。八並長者の兵隊は柳河長者の兵隊を打破りましたので柳河長者と奥様との仲が悪くなり、可愛想に奥様は生れたばかりの赤ちゃんと共に離縁になりました。今までは何一つ不自由のない若い奥様も仕方がありませんから、赤ちゃんを抱いて、とぼとぼと八並の丘に帰られました。ところが八並長者は

「一度縁づいた者はもう八並のものではない、柳河の者だ敵だ、帰れ帰れ」

と言われました。そこで奥様は頼みの綱も切れ果てて若い奥様はまた赤ちゃんを抱いてすごすごと八並の丘を出て行かれました。あまりのことに気が張りつめてお乳も出ませんでした。赤ちゃんは火のつくように泣き叫びます。奥様はその赤ちゃんをあやしながら何処となくさまよい歩き続けられました。

さすがに強くは言ったものの、父八並長者は心配して兵隊どもに遠くから見張りをするように言いつけられました。そこで兵隊共は奥様を見失わないように注意していましたが、いつの間にか見失ってしまいました。見張役の大将は「これは大変だ」と沢山の兵隊に一生懸命探させましたが、どんなに探しても見つけ出すことができません。大将はほとほと困っておりますと、そこへ一人の兵隊が来て「あの丘の上に赤ん坊の泣き声がします」と言います。

「それは」と急いで行って見ると、丘の上に一つの古い井戸があり、その中から赤ちゃんの火のつくような泣き声とそれをあやす声とが聞えます。これは不思議と思い、大きな木に綱をつけ、綱につたわって大将が井戸の中に入って見ますと水の底に声が聞えます。そして水の底は明るく輝いているではありませんか。その所に見るもまばゆいばかりの黄金色の観音様が小さな子供を抱いて鎮座していられます。そうしてその観音様の御顔は、あの奥様の御顔ではありませんか。

大将は余りのことに、驚きと感歎とに胸を打たれて、早速このことを八並長者に知らせました。八並長者は、娘の死を悲しまれましたが、又一方には観音様となって現世に現われたことを喜び、そうしてこの観音様を崇められました。そうしてこの丘に観音堂を建てられました。今日の太田山観音であると申します。

太田山由来記によればこの「八並長者といいし人、観世音菩薩の霊夢を蒙りてここに道場を開き」とあり、今日多くの人が参拝しています。子のない人には子を授け乳の乏しい人には乳を与えられると信ずる人々の群が春や秋に多いのはこうした理由によるものでしょう。

（「鳥栖史談」四号から）

鳥栖市・久留米市の主要小売物価表 昭和34年5月現在

品名	単位	鳥栖	久留米	比較	品名	単位	鳥栖	久留米	比較
		円	円	円			円	円	円
粳米	1瓩	85	86	−1	みそ	400瓦	24	28	−4
精麦	〃	51	52	−1	砂糖	〃	50	54	−4
小麦粉	〃	50	52	−2	食用油	1立	30	28	+2
干うどん	400瓦	20	21	−1	ソース	1本	38	45	−7
けずりぶし	100瓦	13	—	—	豆腐	400瓦	14.2	13.6	+0.6
あんぱん	1個	9	—	—	まぐろかん詰	—	—	—	—
あじ	400瓦	34	40	−6	干わかめ	100瓦	—	12	—
いわし	〃	24	28	−4	番茶	400瓦	—	—	—
さば	〃	29	40	−11	せん茶	〃	—	—	—
だい	〃	114	—	—	かけうどん	1杯	20	—	—
ぶり	〃	98	—	—	夏みかん	400瓦	16	20	−4
いか	〃	33	30	−3	りんご	〃	—	—	—
牛肉	〃	137	180	−43	男ワイシャツ	1枚	370	—	—
豚肉	〃	150	160	−10	男子シャツ	〃	154	—	—
鯨肉	〃	50	—	—	子供シャツ	〃	127	—	—
鶏卵	〃	70	72	−2	婦人シャツ	〃	133	—	—
牛乳	1本	10	13	−3	男子くつ下	1足	103	100	+3
バター	1箱	—	—	—	化繊地	1m	53	—	—
馬れいしょ	1瓩	38	40	−2	タオル地	1枚	42	—	—
キャベツ	400瓦	7.5	6	−1.5	仕立代	1着	6500	7000	−500
里芋	〃	7	—	—	背広長ズボン	1本	—	—	—
春大根	〃	6	7	−1	レインコート	1着	2500	—	—
にんじん	〃	10	10	—	洋がさ（男）	1本	617	475	+142
ごぼう	〃	13	15	−2	〃（女）	〃	—	—	—
玉ねぎ	〃	12	20	−8	木炭	1俵	333	360	−27
かぼちゃ	〃	48	—	—	れん炭	1袋	191	—	—
きゅうり	〃	46	43	−3	まき	1束	33	36	−3
トマト	〃	59	—	—	石炭	1かます	390	484	−94
こんぶ佃煮	〃	41	44	−3	せっけん（浴）	1個	29	25	+4
竹輪	〃	65	—	—	〃（洗）	〃	21	—	—
かまぼこ	〃	70	—	—	板材	1坪	500	480	+20
しょう油	1本	80	—	—					

（註）この価格は、５地区の商店から調査した小売物価の平均価格である比較は鳥栖市を基準にしたもの。

電波の日（六月一日）記念

写真コンクール募集

郵政省電波監理局では電波の日を記念して次の要領で写真コンクールを行うことになりました。

◆画題＝電波及び放送に関するものいっさい。たとえば無線局及びその運用状況、またそれらを含む風景等はもちろん、電波機器の製造、テレビやラジオ等をかこむ家庭の団らん、街頭録音の風景など電波や放送に関係あるものをいっさい◆応募資格＝自由◆応募規格＝白黒四ツ切◆締切期日＝昭和三十四年五月二十日（消印は有効）◆送付先＝東京都港区麻布局区内郵政省電波監理局総務課◆審査＝金丸重嶺、木村伊兵衛、塚本閣治◆賞＝一等一名、郵政大臣賞状及び賞金二万円、副賞ポータブルラジオ一台、二等二名、郵政大臣賞状及び賞金一万円、三等三名、郵政大臣賞状及び賞金五千円、選外佳作十名、賞金一千円◆発表＝入選作品は五月三十一日午前七時二十五分から日本放送協会テレビジョン放送◆その他＝入選作品（選外佳作を含む）のいっさいの版権は、郵政省に属します。